

第1回生体防御基盤研究セミナー

日時：2017年5月31日（水曜日）16:00 – 18:00

場所：東邦大学医学部2号館M3階 第3実習室

広海 健 先生

情報・システム研究機構（ROIS）国立遺伝学研究所（NIG）教授

研究プレゼンテーションの極意 ～研究者キャリアの防御基盤～

講演の要旨

研究発表は研究者にとって必須の基盤活動の一つです。プレゼンの出来で研究の進展やキャリアが左右されることもよくあります。このような活動を支援するために、国立遺伝学研究所（遺伝研）では科学英語プレゼンテーションのカリキュラム「遺伝研メソッド（NIG Method）」を開発しました。英語による研究発表の訓練を通じて、研究者としての論理的思考力や議論する力を培います。その中から今回のセミナーでは、言語に依存しない発表技術（研究発表の機能、伝えたいことを効率的に伝えるためのプレゼンテーションの構造、聴衆の期待感を作り上げるテクニックなど）を紹介し、プロGRESSレポート、学会発表だけでなく、博士論文公聴会やジョブセミナーでも活用していただけるでしょう。

教員だけでなく、これから学会発表や学位発表をすることになる
大学院生も是非参加してください。

「遺伝研メソッド」カリキュラムのうち、「Q&Aを楽しもう！」のユニットについては、授業シラバスからダウンロードできます。

<https://goo.gl/BYLNxZ>（「Asking Questions」の週参照）



平田 たつみ, タジ・ゴルマン, 広海 健: 遺伝研メソッドで学ぶ科学英語プレゼンテーション - 感じる力、考える力、討論する力を育てる dZERO (2016)

世話人：中野 裕康（生化学）（内線 2355）